

千葉県環境学習等行動計画 関連事業取組実績一覧

No	施策体系	主な取組	担当		再掲	事業名	事業概要	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
			部局	主務課(実施機関)				事業実績	事業実績	事業実績	状況	事業予定
1	1 人材の育成と活用	(1)学校や地域における指導者等の育成 ・学校や地域における環境学習等の指導者としての力を備えた人材を育成するため、教職員等を対象に、SDGsやESDの視点を取り入れた研修を実施します。 ・地球温暖化問題について、地域や学校における普及啓発活動の中心を担う地球温暖化防止活動推進員の知識・技能の向上を図るための研修を実施します。 ・環境学習等を実践する多様な主体間の調整やネットワークづくり等を担うコーディネーターとしての力を備えた人材を育成するため、NPO等とも連携し、環境学習等に携わる人材の交流や研修の機会を提供します。	05環境	循環型社会推進課		環境教育指導者養成研修	学校や地域で環境教育活動を実践できる人材を育成するため、教育庁と連携し、環境教育の指導内容や指導方法についての研修を実施する。	森林環境教育プログラム「LEAF」を取り入れ、SDGsの考え方を盛り込んだ体験型の研修を実施した。教員向け：参加者数11名 NPO等の指導者向け：参加者数15名	森林環境教育プログラム「LEAF」を取り入れ、SDGsの考え方を盛り込んだ体験型の研修を実施した。教員向け：1回 11名 NPO等の指導者向け：2回 25名	森林環境教育プログラム「LEAF」を取り入れ、SDGsの考え方を盛り込んだ体験型の研修を実施した。教員向け：1回 17名 NPO等の指導者向け：2回 24名	継続	森林環境教育プログラム「LEAF」を取り入れ、教職員やNPO等の指導者を対象として、自然体験の場を活用し、SDGsの考え方を盛り込んだ体験型の研修を実施する。
			05環境	温暖化対策推進課		地球温暖化防止活動推進員への研修	地球温暖化問題について、地域や学校における普及啓発活動の中心を担う地球温暖化防止活動推進員の知識・技能の向上を図るための研修を実施する。	研修参加者数：366名	研修参加者数：279名	研修参加者数：231名	継続	地球温暖化防止活動推進員の知識・技能の向上を図るための研修を実施する。
			10教育	学習指導課(総合教育センター)		小・中学校自然体験活動研修	野外活動における具体的な指導方法について体験・実習を通し指導力の向上を図る研修	県立中央博物館を会場として、植物園での植物観察、野草カードを用いた講義・実習等を行った。参加教員数：12名	野外活動における具体的な指導方法について体験・実習を通し指導力の向上を図る研修を実施した。小・中・高・特支教諭 15名	野外活動における具体的な指導方法について体験・実習を通し指導力の向上を図る研修を実施した。小・中・高・特支教諭 21名	継続	野外活動における具体的な指導方法について体験・実習を通し指導力の向上を図る研修 小・中・高・特支教諭対象
			10教育	学習指導課(総合教育センター)		海の生物観察実験研修	海辺の生物の観察、実験を通して、生物観察の基礎についての理解を深めるとともに、理科の指導力の向上を図る研修	県立中央博物館分館海の博物館を会場として、磯の生物の観察・採集、海の生物の同定、指導法についての研修等を行った。参加教員数：16名	海辺の生物の観察、実験を通して、生物観察の基礎についての理解を深めるとともに、理科の指導力の向上を図る研修を実施した。小・中・高・特支教諭 10名	海辺の生物の観察、実験を通して、生物観察の基礎についての理解を深めるとともに、理科の指導力の向上を図る研修を実施した。小・中・高・特支教諭 20名	継続	海辺の生物の観察、実験を通して、生物観察の基礎についての理解を深めるとともに、理科の指導力の向上を図る研修 小・中・高・特支教諭対象
5	(2)次代を担う若手人材の育成	・地域の自然や文化、産業等の資源を活かし、多様な主体を巻き込みながら、環境学習等を実践できるSDGsの視点を持った若手人材の発掘・育成を進めます。 ・次代を担う子どもたちの環境問題に対する関心を喚起し、問題解決のための力を育成するため、環境学習等に取り組む学校や子どもエコクラブ等の地域の活動を支援します。	05環境	循環型社会推進課		環境教育モデル校事業	環境保全活動の実践に取り組む学校を支援することにより、環境問題の解決に向けた力や将来の環境保全活動のリーダーとしての力を備えた人材を育成する。	県立学校3校をモデル校に指定し、活動への助成を実施するとともに、活動成果報告会を企画開催した。 ・浦安南高等学校 東京湾最奥部高洲の海の生物及び環境調査 ・多古高等学校 共生水田を目指して～耕作放棄田の活用～ ・旭農業高等学校 養鶏から始めるこれからの循環型農業の形 ・大原高等学校 アクアポニックスシステムを活用した食料生産への取組み、環境教育の実践	県立学校4校をモデル校に指定し、活動への助成を実施するとともに、活動成果報告会を企画開催した。 ・浦安南高等学校 東京湾最奥部高洲の海の生物及び環境調査 ・多古高等学校 共生水田を目指して～耕作放棄田の活用～ ・旭農業高等学校 養鶏から始めるこれからの循環型農業の形 ・大原高等学校 アクアポニックスシステムを活用した食料生産と環境教育の実践	—	廃止	—
			05環境	循環型社会推進課		若者が主役の環境保全活動応援事業	若者の創意工夫による活動の企画コンペを実施し、活動への支援や、地域団体や企業への橋渡しを行うことで、本県の環境活動をリードする若手人材の育成を図るとともに、若者発掘による共感・関心を広げ、県民の行動変容を促す。	—	—	「若者が主役の環境保全活動アイデアコンテスト」を次のとおり開催した。 募集期間 7/14～9/19 → 応募数 9件 コンテスト開催 10/15 → 5件参加のうち3件を表彰 活動報告会 2/18に開催するなど継続して支援	継続	若者の創意工夫による環境保全活動のアイデアコンテストを開催し、活動への支援を行うことで、次代の環境活動をリードする若手人材の育成を図る。 事業概要 1 協力団体等の把握 2 コンテストの開催 3 受賞者の活動への支援と活動状況の把握
			05環境	循環型社会推進課		子どもエコクラブへの支援	子どもたちの身近な自然を大切にするとともに、問題解決のために自ら考えて行動する力を育み、地域に根ざした環境保全活動の環が広がるよう、子どもエコクラブの活動を支援する。	子ども環境だより及び子ども向けの環境学習動画を作成し、子どもエコクラブへ情報提供を行った。	県ホームページ・SNS等での情報提供、活動状況の紹介等	県ホームページ・SNS等での情報提供、活動状況の紹介等	継続	県ホームページ・SNS等での情報提供、活動状況の紹介等
8	02総企	水政課	再掲	水のはなし	「水のはなし」は、水の重要な役割、水資源の貴重さ及び有限性など、次世代を担う子供達をはじめとして、広く県民の理解や関心を深めることを目的に作成されたもので、千葉県ホームページで公開している。	内容を見直しデータの更新作業を行った。(外部委託)	内容を見直しデータの更新作業を行った。(外部委託)	内容を見直しデータの更新作業を行った。(外部委託)	内容を見直しデータの更新作業を行った。(外部委託)	継続	必要に応じて、内容を見直しデータの更新作業を行う。(外部委託)	
9	02総企	水政課	再掲	上下流交流事業	上流水源地域住民に感謝の気持ちを示すとともに、受益者である千葉県民との相互理解を深めるため、各種事業を実施している。	コロナウイルス感染症終息後に自主的な交流を促せるように、ハツ場ダムの役割・歴史や水源地域に対する理解を深める等の啓発用の資料として、リーフレットを1,000枚作成した。	1. 国、群馬県、長野県及び桜守の会(地元の有志団体)が行っている「やんば1万本桜プロジェクト」に寄付し、これまでの交流の記念として桜の植樹を行った。 2. 「四街道市産業まつり」に長野県と共に参加し、ハツ場ダムの水源地である長野県での紹介を行った。	令和4年度末の千葉県上下流交流事業実行委員会の解散に伴い、廃止	—	廃止	—	
10	02総企	水政課	再掲	全日本中学生水の作文コンクール	「水の日」及び「水の週間」関連行事の一環として、次代を担う中学生を対象に作文を募集する。(テーマ「水について考える」)なお、優秀な作文について表彰式を執り行う。	県内各地から過去最多の1031編の応募があり、最優秀賞1編、優秀賞3編、奨励賞1編、学校賞5校を選定した。 表彰式については新型コロナウイルス感染症防止対策により、受賞者を招いての式典は行わず、副知事による賞状の朗読などの様子を収めたDVDを送付した。(主催者：水循環政策本部・国土交通省・千葉県等)	県内各地から275編の応募があり、最優秀賞1編、優秀賞2編、奨励賞2編、学校賞3校を選定した。(主催者：水循環政策本部・国土交通省・千葉県) 1. 作品募集 募集テーマ：「水について考える」、募集対象者：県内在住・在学の中学生、募集期間：3月1日～5月9日、応募数：275編 2. 表彰 入賞者を県庁に招いて表彰式を実施。	県内各地から118編の応募があり、最優秀賞1編、優秀賞2編、奨励賞2編、学校賞1校を選定した。(主催者：水循環政策本部・国土交通省・千葉県) 1. 作品募集 募集テーマ：「水について考える」、募集対象者：県内在住・在学の中学生、募集期間：3月1日～5月8日、応募数：118編 2. 表彰 千葉県自治会館にて表彰式を実施。	継続	募集テーマ：「水について考える」 募集対象：県内在住・在学の中学生 募集期間：3月8日～5月9日必着		
12	(4)県の率先取組	・職員への研修を実施すること等を通じ、職員一人ひとりが家庭や地域で環境に配慮した行動の実践者となるよう努めます。	05環境	環境政策課		環境研修の実施	新規採用職員研修などの場で職員に対する環境研修を実施する。	新採用職員研修：オンデマンド配信	実績なし	実績なし	継続	未定
			05環境	循環型社会推進課		職員によるフードドライブの実施	家庭で余っている食べ物を県職員が持ち寄り、フードバンクちばに寄付を行う。	実施回数3回 計63kg寄附	実施回数3回 計188.9kg寄附	実施回数3回 計73.6kg寄附	継続	実施回数3回を予定(6月・10月・2月)
			02総企	政策企画課		SDGsセミナー(自治体職員向け)	様々な分野にSDGsを一層浸透させていくため、行政職員一人一人がSDGsの理解を深めることを目的として、有識者等を講師とした県職員及び市町村職員向けセミナーを開催する。	「自治体職員向けSDGsセミナー」※オンデマンド配信 配信期間：令和3年9月7日(火)～令和3年11月8日(月) 視聴回数：6,673回	「自治体職員(県職員・市町村職員)向けSDGsセミナー」をオンデマンドにて開催した。 実施期間：令和5年2月22日から令和5年3月31日 視聴回数：710回	—	廃止	—
15	2 情報発信・普及啓発	(1)環境学習等に関する情報の集約・提供	05環境	温暖化対策推進課		ホームページによる省エネ・節電情報の提供	家庭や職場の省エネ・節電に役立つ参考情報をホームページで公開する。	県や国における省エネ・節電に関する情報等を県ホームページにて公開。	国や県における省エネ・節電に関する情報等を県ホームページにて公開した。	国や県における省エネ・節電に関する情報等を県ホームページにて公開した。	継続	夏季及び冬季に向けて、内容の修正を行う。
			05環境	環境研究センター		環境研究センター・環境だよりの発行	県民や関係機関がセンターの研究活動等を理解し関心を持つことを目的として環境研究センター・環境だよりを発行する。	発行回数：2回	発行回数：2回	発行回数：2回	継続	環境研究センター・環境だよりを発行する。
17	05環境	環境研究センター		年報の発行	センターが行った調査研究業務の成果として年報を発行する。	年報を発行しHPIに掲載した。	発行回数：2回(業務概要と調査研究報告)	発行回数：2回(業務概要と調査研究報告)	発行回数：2回(業務概要と調査研究報告)	継続	年報を発行しHPIに掲載する。	

千葉県環境学習等行動計画 関連事業取組実績一覧

No	施策体系	主な取組	担当		再掲	事業名	事業概要	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
			部局	主務課 (実施機関)				事業実績	事業実績	事業実績	状況	事業予定	
18			07農林	漁業資源課 (水産総合研究センター 内水面水産研究所)		内水面水産研究所運営費	小中学生を含む一般県民に対し、内水面漁業や水産動植物に関する情報、水辺環境の保全技術、魚介類の増殖技術に関する技術指導などを「魚にやさしい水辺づくり相談窓口」の開設や「展示室」の公開により情報提供を行う。	水辺相談は5件、展示室の公開は新型コロナウイルス蔓延防止のため休止中。	・水辺相談等3件に対応した。 ・展示室の公開は新型コロナウイルス蔓延防止のため休止中。	・水辺相談等2件に対応した。 ・展示室を公開し、94名が来所した。	継続	小中学生を含む一般県民に対し、内水面漁業や水産動植物に関する情報などを「魚にやさしい水辺づくり相談窓口」の開設や「展示室」の公開により情報提供を行う。	
19			09企業	総務企画課		環境報告書	環境負荷の状況、環境会計情報、環境保全の取組等を報告書として取りまとめ、県ホームページで公開する。	各種環境データの集計及び報告書の作成を行った。	前年度作成の報告書を県ホームページ上で公開した。 また、各種環境データの集計及び報告書の作成を行い、県ホームページ上で公開した。	各種環境データの集計及び報告書の作成を行い、県ホームページ上で公開した。	継続	報告書の作成及び県ホームページ上で公開	
20			09企業	業務振興課		広報用パンフレット 「ちばの水道」 「わたしたちの水道」 「千葉県企業局事業概要」	「ちばの水道」は大人向け、「わたしたちの水道」は小学校向けの水産見学者向けパンフレットであり、浄水工程などを記載。「千葉県企業局事業概要」は歴史と概要を記載する。	広報用パンフレットの配布を継続して実施した。 また、千葉県企業局事業概要については、記載内容の更新を行った。	広報用パンフレットの配布を継続して実施した。	広報用パンフレットの配布を継続して実施した。 また、千葉県企業局事業概要については、記載内容の更新を行った。	継続	広報用パンフレットの配布	
21			09企業	業務振興課		広報用DVD	上水道事業の概要や各浄水場を紹介するDVDを作成し、浄水場見学会等で視聴、DVDの貸出及び県ホームページで公開する。	広報用DVD等の貸出を継続して実施した。	広報用DVD等の貸出を継続して実施した。	広報用DVD等の貸出を継続して実施した。	継続	小学生等を対象としたDVDの貸出	
22			02総企	水政課	本籍	上下流交流事業	上流水源地域住民に感謝の気持ちを示すとともに、受益者である千葉県民との相互理解を深めるため、各種事業を実施している。	コロナウイルス感染症終息後に自主的な交流を促せるように、ハツ場ダム役割、歴史や水源地域に対する理解を深める啓発用の資料として、リーフレットを1,000枚作成した。	1. 国、群馬県、長野原町及び桜守の会(地元の有志団体)が行っている「やんば1万本桜プロジェクト」に寄付し、これまでの交流の記念として桜の植樹を行った。 2. 「四街道市産業まつり」に長野原町と共に参加し、ハツ場ダムの水源地である長野原町の紹介を行った。	令和4年度末の千葉県上下流交流事業実行委員会の解散に伴い、廃止	—		
23		(2)時代のニーズに合わせた情報発信・普及啓発	05環境	大気保全課		化学物質啓発推進事業	県民の化学物質に関する理解を深め、事業者による化学物質の適正な管理を促進するため、化学物質に係る講習会を開催する。	千葉県公式セミナーチャンネルにおける動画配信により実施予定であったが、講師の都合により中止した。	・県民向けに化学物質に関するセミナーを開催した。 ・行政改革推進課所管のYouTubeチャンネル「千葉県公式セミナーチャンネル」において動画配信(申込者のみ視聴できる限定公開)。 ・視聴回数:467回	・県民向けに化学物質に関するセミナーを開催した。 ・会場(千葉県文書館)方式とZoom方式を組み合わせたハイブリッド方式で開催 ・行政改革推進課所管のYouTubeチャンネル「千葉県公式セミナーチャンネル」において動画配信。 ・参加人数:会場23名、Zoom32名、計55名 ・視聴回数:178回	継続	県民または事業者を対象とした研修会等を実施予定。	
24		・気候変動、生物多様性、海洋プラスチックごみ、食品ロスなど、時代のニーズに応じたテーマについて、一人ひとりが日々の暮らしの中で実践できる取組など、行動に結び付けるための効果的な情報発信・普及啓発を行います。 ・若者や環境問題に関心の低い人が、気軽に環境学習等へ参加するためのきっかけを作っていくため、インターネットやSNSを活用した情報発信・普及啓発を行います。	05環境	水質保全課		印旛沼・手賀沼及びその流域における特定外来水生植物の防除・拡散防止に係る普及啓発資料の作成	「湖沼における外来水生植物対策事業」の結果を踏まえ、上流部にあたる印旛沼・手賀沼流域の市民団体や事業者、市等に対し、本事業の内容の周知や、市民団体が行う防除の際などに、新たな拡散に繋がらないよう、正しい知識の普及啓発を図るための資料を作成する。	印旛沼・手賀沼の外来水生植物対策についてウェブページ、Twitterでの情報発信を行った。	印旛沼・手賀沼の外来水生植物対策についてウェブページ、Twitterでの情報発信を行った。	印旛沼・手賀沼の外来水生植物対策についてウェブページ、水質保全課SNS(水草バスターズ)での情報発信を行った。	継続	印旛沼・手賀沼の外来水生植物対策についてウェブページ、県SNSでの情報発信を行う。	
25			05環境	自然保護課		生物多様性サテライト事業	生物多様性のパネル展示、パンフレットの配布、地元の自然等の情報提供を行う常設コーナーを集客施設、大学、企業等の協力を得て設置する。これまでに設置した12か所に加え、新たな設置を目指す。	生物多様性サテライト15か所の設置 (1箇所増、1箇所更新)	生物多様性サテライト14か所の設置 (1箇所減、内1箇所休館中)	生物多様性サテライト14か所の設置 (内1箇所休館中)	継続	・設置済み施設での情報発信 ・新たな施設での設置に向けた取組	
26			05環境	自然保護課		生物多様性の普及啓発事業	生物多様性の現状や重要性などを広く普及啓発するために、市町村の環境フェア等において巡回展示を行うほか、エコメッセちばに出席する。	市町村の環境フェア等での巡回展示・講座を19回(オンラインを含む)実施 エコメッセ2021inちばにオンライン出展 新型コロナウイルス感染症の影響が濃い中、オンライン開催などにも対応した	市町村の環境フェア等での巡回展示・講座を25回実施 エコメッセ2022inちばに出席	市町村の環境フェア等での巡回展示・講座を21回実施 エコメッセ2023inちばに出席	継続	・市町村の環境フェア等での巡回展示・講座(オンラインを含む) ・エコメッセちば2024inちばへの出展	
27			05環境	自然保護課		生物多様性の多様な主体への広報啓発事業(情報誌等の作成配布)	千葉県生物多様性センターのHPを運営し、情報発信・情報提供を行うとともに、生物多様性に関するニュースレターやパンフレット等を作成し、県内図書館・市町村等を通じての配布や各種環境イベント等での参加者への配布等を行う。	・千葉県生物多様性センターHPの運営と改修 ・生物多様性ちばニュースレターの発行 年4回 ・特定外来生物(カミツキガメ)リーフレットの改訂	・千葉県生物多様性センターHPの運営と改修 ・生物多様性ちばニュースレターの発行 年4回	・千葉県生物多様性センターHPの運営 ・生物多様性ちばニュースレターの発行 年4回	継続	生物多様性ちばニュースレターの発行 年4回 生物多様性センターHPの運営	
28			05環境	自然保護課		生物多様性の企業向けセミナーの開催	企業にとって参考になる先進的な取組み情報等を提供するために企業セミナーを開催する。	新型コロナウイルス感染症対策として、はじめてオンライン開催した。	・企業と生物多様性セミナーの開催 年1回	・企業と生物多様性セミナーの開催 年1回	継続	企業と生物多様性セミナーの開催 年1回	
29			05環境	循環型社会推進課		Twitter「環っしょい!」による情報発信	私たちの身近で起きている環境問題や、循環型社会・脱炭素社会の実現を目指す県や県内事業者等の取組などの情報発信を行う。	定期的な情報発信のほか、環境月間や3R推進月間などの機会に重点的に発信を行った。 投稿回数:383回(R4.3未現在)	身近で起きている環境問題や、循環型社会・脱炭素社会の実現を目指す県や県内事業者等の取組などの情報発信を行った。 R4年度投稿回数 110回	身近で起きている環境問題や、循環型社会・脱炭素社会の実現を目指す県や県内事業者等の取組などの情報発信を行った。 R5年度投稿回数 37回	廃止	—	
30			05環境	温暖化対策推進課		次世代自動車普及啓発事業	水素社会を見据え、地球温暖化対策や大気汚染防止対策の観点から、県や各市町村が主催・共催するイベントで排気ガスを出さず水のみを排出する燃料電池自動車の展示等による啓発を行う。	ホームページで燃料電池自動車に関する情報発信を行ったほか、市町村主催の環境イベントにおいて燃料電池自動車MIRAIを出展し、啓発品の配布を行った。 R4年度MIRAI出展回数:6回	ホームページで燃料電池自動車に関する情報発信を行ったほか、県や市町村主催の環境イベントにおいて燃料電池自動車MIRAIを出展し、啓発品の配布を行った。 R5年度MIRAI出展回数:6回	ホームページで燃料電池自動車に関する情報発信を行ったほか、県や市町村主催の環境イベントにおいて燃料電池自動車MIRAIを出展し、啓発品の配布を行った。 R5年度MIRAI出展回数:6回	継続	県や市町村主催の環境イベントにおける普及啓発の実施	
31			05環境	温暖化対策推進課		エコドライブの普及促進	自動車の運転方法を工夫することで環境負荷の低減、燃費の改善及び交通事故防止対策につながる一石三鳥の取組である「エコドライブ」の実践を働きかける。	ホームページでエコドライブに関する情報提供を実施したほか、県や市町村主催の環境イベントにおいてエコドライブシミュレータ等を活用し、エコドライブの実践を働きかけた。 R4年度ドライブシミュレータ出展回数:4回	ホームページでエコドライブに関する情報提供を実施したほか、県や市町村主催の環境イベントにおいてエコドライブシミュレータ等を活用し、エコドライブの実践を働きかけた。 R5年度ドライブシミュレータ出展回数:8回	ホームページでエコドライブに関する情報提供を実施したほか、県や市町村主催の環境イベントにおいてエコドライブシミュレータ等を活用し、エコドライブの実践を働きかけた。 R5年度ドライブシミュレータ出展回数:8回	継続	県や市町村主催の環境イベントにおける普及啓発の実施	
32			05環境	循環型社会推進課	本籍	3R推進事業	3Rの推進を図るため、ごみを減らすために、身の回りで行えることを実践するライフスタイル「ちばエコスタイル」の普及啓発を実施する。	・環境月間や3R推進月間などの機会を捉え、リーフレット、ホームページ、SNS等を活用し、「ちばエコスタイル」の普及に取り組んだ。 ・県内事業者と連携し、プラスチックごみ削減キャンペーンを実施した。 ちばレジエコサポーター数:38,231名 ちばマイカップ・マイボトル協力店舗数:509店 ちば食べきりエコスタイル協力店舗数:509店	・環境月間や3R推進月間などの機会を捉え、リーフレット、ホームページ、SNS等を活用し、「ちばエコスタイル」の普及に取り組んだ。 ・県内事業者と連携し、プラスチックごみ削減キャンペーンを実施した。 ちばレジエコサポーター数:39,298名 ちばマイカップ・マイボトル協力店舗数:510店 ちば食べきりエコスタイル協力店舗数:514店	・環境月間や3R推進月間などの機会を捉え、リーフレット、ホームページ、SNS等を活用し、「ちばエコスタイル」の普及に取り組んだ。 ・県内事業者等と連携し、各種イベント等で啓発を実施した。 ・従来の登録制度(ちばマイカップ・マイボトル協力事業者、ちば食べきりエコスタイル協力事業者)を刷新し、「ちばエコスタイルパートナー登録制度」(ちばプラごみ削減パートナー、ちば食品ロス削減パートナー)を創設した(10月10日)。 ○ちばレジエコサポーター数:40,350名(10月9日時点) ○ちばマイカップ・マイボトル協力店舗数:510店(10月9日時点) ○ちば食べきりエコスタイル協力店舗数:545店(10月9日時点) —<刷新後> ○「ちばプラごみ削減パートナー」登録事業者数:42事業者2,273店舗(3月31日時点) ○「ちば食品ロス削減パートナー」登録事業者数:81事業者3,429店舗(3月31日時点)	・環境月間や3R推進月間などの機会を捉え、リーフレット、ホームページ、SNS等を活用し、「ちばエコスタイル」の普及に取り組む。 ・県内事業者等と連携し、各種イベント等で啓発を実施する。 ・「ちばエコスタイルパートナー」登録制度の周知を図る。	継続	

千葉県環境学習等行動計画 関連事業取組実績一覧

No	施策体系	主な取組	担当		再掲	事業名	事業概要	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
			部局	主務課 (実施機関)				事業実績	事業実績	事業実績	状況	事業予定
33			05環境	循環型社会推進課	本籍	食品ロス削減対策推進事業	消費者、事業者等が食品ロス削減について理解と関心を深め、それぞれの立場から取り組むことを促進するよう、普及啓発を図る。	・リーフレットやSNS等による情報発信を行った。 ・消費者・事業者・関係団体・学識経験者で構成する「千葉県食品ロス削減ネットワーク会議」を立ち上げ、各構成員における取組状況や課題等について意見交換を行った。 ・県内のコンビニエンスストア、食品スーパー等と連携し、2,040店において「てまえどり」の啓発を実施した。	・リーフレットやSNS等による情報発信を行った。 ・消費者・事業者・関係団体・学識経験者で構成する「千葉県食品ロス削減ネットワーク会議」の検討結果を踏まえ、千葉県の事業系食品ロスの実態把握のため、事業者アンケート調査を実施した。 ・県内のコンビニエンスストア、食品スーパー等と連携し、2,723店において「てまえどり」の啓発を実施した。	・リーフレットやSNS等による情報発信を行った。 ・「ちは食べきりエコスタイル協力事業者」を刷新し、中小事業者等へ取組の範囲を拡大した「ちは食品ロス削減パートナー」登録制度を創設した。 ・県内のコンビニエンスストア、食品スーパー等と連携し、2,913店において「てまえどり」の啓発を実施した。	継続	・イベント出展やSNS等による情報発信を行う。 ・「ちは食品ロス削減パートナー」登録制度の周知を図る。 ・「てまえどり」など、事業者と連携した啓発を行う。
34			05環境	温暖化対策推進課		気候変動の影響への適応に関するセミナー	気候変動の現状及び将来の状況、その影響に対して県民等がどのように対応したらよいか、気象の専門家や適応に係る専門家などを招き、講演を行う。	・オンラインセミナーの開催 参加者(最大接続者数):約140名 ・YouTubeへのセミナー動画の掲載 (R3.12月～R4.3月)	・県民向け温暖化対策普及啓発セミナー 夏開催(動画配信期間:R4.7月～8月末、視聴回数:460回) 冬開催 参加者(最大接続者数):約70名 動画配信期間:(R.12月～R4.3月末、視聴回数:432回) 事業者向け温暖化対策普及啓発セミナー R4.10月開催 参加者(最大接続者数):67名	・県民向け温暖化対策普及啓発セミナー 夏開催(動画配信期間:R5.6月末～9月、視聴回数:659回) 冬開催(動画配信期間:(R5.11月～R6.1月末、視聴回数:535回)	継続	県民向け温暖化対策普及啓発セミナーを開催する。
35			05環境	循環型社会推進課		バイオマス活用推進事業	各種イベントにおいてパンフレット・啓発物品を配布するなどして、バイオマス活用の普及啓発を行う。 また、バイオマスの利活用に関する県民や事業者等の理解を深めてもらうことを目的とし、バイオマスに関する基礎的な講義や市町村・企業の取組を紹介するバイオマス利活用研修会を開催する。	・イベント等で啓発物品の配布を行った。 ・バイオマスに関する取組事例を紹介し、自治体職員の間関心や理解を深めるための研修会を開催した。 開催日:令和4年2月17日 参加者:31名	・バイオマス製品の普及啓発のため、イベント等で啓発物品の配布を行った。 ・市町村・事業者・県民におけるバイオマスの利活用を促進するため、「バイオマス利活用研修会」を開催した。 開催日:令和5年2月21日 参加者:57名	・バイオマス製品の普及啓発のため、R5.10.15に開催されたエコメッセに参加し、バイオマスクイズを実施・クイズ参加者に木質ストラップを配付した。 ・市町村・事業者・県民におけるバイオマスの利活用を促進するため、「バイオマス利活用研修会」を開催した。 開催日:令和6年1月22日 参加者:40名	継続	啓発物品の配付やバイオマス利活用研修会を開催する。
36			09企業	計画課		安全・おいしい水プロジェクト2021-2025リーフレット	千葉県営水道で取り組んでいるおいしい水づくりの概要を事前講座などの各種イベントで周知するため作成する。	お客様や学識経験者で構成する「おいしい水懇話会」のメンバーの意見を参考にしながら、「安全・おいしい水プロジェクト2021-2025」の概要をまとめたリーフレットを製作し配付した。	「安全・おいしい水プロジェクト2021-2025」の概要をまとめたリーフレットを製作し配付した。	「安全・おいしい水プロジェクト2021-2025」の概要をまとめたリーフレットを製作し配付した。	継続	「安全・おいしい水プロジェクト2021-2025」の概要をまとめたリーフレットの配付
37			02総企	政策企画課		SDGsセミナー	県内企業等に対し、ちばSDGsパートナー登録制度やSDGs達成に向けた取組の促進をテーマとしたセミナーを開催し、SDGsの取組の更なる充実や連携による新たな展開を促す。	—	・パートナー未登録者向けセミナーの開催 1回	・パートナー未登録者向けセミナーの開催 1回 ・パートナー向けセミナーの開催 1回 ※R4年度まで実施していた行政職員向けのセミナーは廃止し、県内企業等を対象とした本セミナーの対象に行政職員を含む形で整理する。	継続	・パートナー未登録者向けセミナーの開催 1回 ・パートナー向けセミナーの開催 1回 ※R4年度まで実施していた行政職員向けのセミナーは廃止し、県内企業等を対象とした本セミナーの対象に行政職員を含む形で整理する。
38	3 プログラム・教材の整備	(1)プログラム・教材の作成	02総企	水政課	本籍	水のはなし	「水のはなし」は、水の重要な役割、水資源の貴重さ及び有限性など、次世代を担う子供達をはじめとして、広く県民の理解や関心を深めることを目的に作成されたもので、千葉県ホームページで公開している。	内容を見直しデータの更新作業を行った。(外部委託)	内容を見直しデータの更新作業を行った。(外部委託)	内容を見直しデータの更新作業を行った。(外部委託)	継続	必要に応じて、内容を見直しデータの更新作業を行う。(外部委託)
39			05環境	水質保全課		「印旛沼環境学習指導案集」の作成	環境学習の実施をサポートすることを目的に、小中学校の教員が、日々の授業に無理なく印旛沼やその流域についての学習内容を取り込むことができるよう、小中学校学習指導要領に沿った指導案集を作成する。	「印旛沼環境学習指導案集」を印刷製本し、印旛地区の小中学校152校に777部配布した。	「印旛沼環境学習指導案集」を印刷製本し、印旛地区以外の流域小中学校178校に894部配布した。	指導案集の活用を推進するため、印旛沼流域の公立小中学校教員を対象とした研修動画をオンデマンド配信した。	継続	「印旛沼環境学習指導案集」の利用促進に向けてさらなる啓発を行う。
40			05環境	循環型社会推進課		海岸漂着物発生抑制対策事業	海岸漂着物は県民生活に伴って発生するごみも多く漂着していることから、県内すべての地域における課題であることをPRするため、海岸漂着物等の発生抑制に向けた啓発事業を実施する。	リーフレットや学習教材の配布のほか、ホームページやSNSを活用し、海岸漂着物及び海洋プラスチックごみに関する啓発を行った。	海洋プラスチックごみ及び海岸漂着物に関する啓発を実施した。	海洋プラスチックごみ及び海岸漂着物に関する啓発を実施した。	継続	・海洋プラスチックごみ及び海岸漂着物に関する啓発を実施する。 ・県下一斉啓発を実施する。
41			05環境	環境研究センター		環境動画の配信	環境や環境問題の現状について関心を高め、理解を深めるとともに、環境学習・環境保全活動を推進する人材の育成を行うことを目的とした環境動画を配信する。	視聴回数:100,257回(2021/04/01～2022/03/31)	視聴回数:87,744回(2022/04/01～2023/03/31)	視聴回数:88,736回(2023/04/01～2024/03/31) 環境学習デジタルコンテンツを作成、R6.1.30に公開した。R6.3.31時点のアクセス数は19,502。	継続	環境学習コンテンツの制作を行う。
42			06商工	観光政策課 (※R5まで観光誘致促進課)		教育旅行SDGs体験プログラム造成業務	千葉県内に教育旅行を誘致するため、学校からのニーズが高いSDGsの学習要素を取り入れた体験プログラムの造成に必要な支援等を実施します。	—	・体験プログラムのコンテンツ調査 体験事業者等に調査票を配付し、計41個の体験プログラムについて調査を実施した。 ・SDGs体験プログラムの造成に向けた勉強会 計10本の体験プログラムの造成支援を行うとともに、前年度造成支援したプログラムのフォローを行った。 ・SDGs体験プログラムの造成支援 計35本の体験プログラムの造成支援を行った。 ・生徒用学習ノートの作成 計700部作成し、県内の小中学校や旅行会社等に配付することで、プログラムの周知をはかった。 ・教育旅行誘致のためのパンフレット作成 計1,000部作成し、県内の小中学校や旅行会社等に配付することで、プログラムの周知をはかった。	・SDGs体験プログラムの造成に向けた勉強会 1回実施し、参加者数は34名となった。 ・SDGs体験プログラムの造成支援 計10本の体験プログラムの造成支援を行うとともに、前年度造成支援したプログラムのフォローを行った。 ・生徒用学習ノートの作成 計700部作成し、小中学校や旅行会社等に配布することで、プログラムの周知を図った。 ・教育旅行誘致のためのパンフレット作成 計700部作成し、小中学校や旅行会社等に配布することで、プログラムの周知を図った。	継続	千葉県内に教育旅行を誘致するため、学校からのニーズが高い探求学習やキャリア教育、SDGsの学習要素を取り入れた体験プログラムの造成に必要な支援等を実施します。 事業名を「教育旅行体験プログラム造成事業」に変更します。
43			09企業	計画課		安全でおいしい水づくりPR動画	千葉県営水道のマスコットキャラクターポタリちゃんが浄水場のしくみや水の大切さなどを紹介する動画を制作し、県ホームページで公開する。	広報冊子「ポタリちゃんの大冒険～おいしい水づくり編～」を製作し、水道出前講座受講者等に配布することで、県営水道の安全でおいしい水づくりの周知を図った。	「ポタリちゃんの大冒険～おいしい水づくり編～」をHPに掲載した。	「ポタリちゃんの大冒険～おいしい水のルーツ編～」をHPに掲載した。	継続	「ポタリちゃんの水道講座～凝集沈でん～」のHP掲載
44			05環境	温暖化対策推進課		仮想空間を活用した地球温暖化対策普及啓発	カーボンニュートラルの生活やまちづくりを体験できる仮想空間を開発し、こどもたちを中心に遊びの要素を取り入れながら、地球温暖化対策の普及啓発を図ります。	—	—	—	新規	①カーボンニュートラルの生活やまちづくりを体験できる仮想空間の開発(体験例) ・ソーラーパネルの設置 ・LEDへの交換 ・建物の壁面緑化 ・植林 ・資源リサイクル ②開発した仮想空間を活用した普及啓発(啓発手段) ・小・中学校の授業の教材としての活用 ・ホームページからのダウンロードやイベント等での活用
45		(2)プログラム・教材の活用	05環境	循環型社会推進課		環境学習教材等の貸出・ホームページ掲載	・県が保有するプログラム・教材について、貸し出しやホームページへの掲載等を通じて、学校や地域での活用を促進します。 ・国、民間団体、事業者等、他団体が保有する優れたプログラム・教材に関する情報を収集し、学校や地域において活用されるよう、インターネット・SNSを通じて周知・情報提供に取り組みます。	環境学習教材について、県ホームページに掲載したほか、環境研究センターでの貸出について周知した。	・環境研究センターでの教材等の貸出 ・県ホームページへの掲載	・環境研究センターでの教材等の貸出 ・県ホームページへの掲載	継続	・環境研究センターでの教材等の貸出 ・県ホームページへの掲載
46	4 参加の場と機会の提供	(1)体験の機会の場の認定	05環境	循環型社会推進課		体験の機会の場の認定	環境教育等促進法に基づく体験の機会の場の認定を行う。	SNSや県ホームページを通じて認定制度や認定の場についての周知を図った。 認定件数:1件(森の墓苑) 認定の場での体験活動:6回119名(R3年度)	SNSや県ホームページを通じて認定制度や認定の場についての周知を図った。 認定件数:1件(森の墓苑) 認定の場での体験活動:10回86名(R4年度)	SNSや県ホームページを通じて認定制度や認定の場についての周知を図った。 認定件数:1件(森の墓苑) 認定の場での体験活動:11回121名(R5年度)	継続	県ホームページなどにより体験の機会の場認定制度の周知や、認定の場の活用促進を図る。

千葉県環境学習等行動計画 関連事業取組実績一覧

No	施策体系	主な取組	担当		再掲	事業名	事業概要	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度			
			部局	主務課 (実施機関)				事業実績	事業実績	事業実績	状況	事業予定		
47	(2)多様な学習機 会の提供	・様々な分野、幅広い地域や世代に応じた学習会、講演会、自然観察会、施設見学の開催や、学校や地域等で行う環境学習の場への講師派遣等を通じて、多様な学習機会の提供に努めるとともに、インターネット・SNSの活用等、時代のニーズに合わせた柔軟な手法で学習機会の提供を進めます。	04健康	高齢者福祉課		千葉県生涯大学の運営	地域の活性化に資する人材を育成するため、高齢者に対し自然環境の保全などの学びを提供する。	—	—	—	新規	令和6年度から新設する「千葉ふるさとづくりコース」及び「ふるさとささえあいコース」で、自然環境の保全等に関する授業を展開する。		
48			05環境	自然保護課 (大房岬自然公園)		講師派遣	公園を訪れる団体等からの要請に応じ、公園の自然案内や野外活動の指導を行う。また、海岸清掃などのボランティア活動イベントの際に環境に関する説明を行う。	自然案内や野外活動の指導については随時実施 湧き水池の清掃、海岸清掃等のボランティアイベントを実施し、講師による説明を行った。	公園を訪れる団体等からの要請に応じ、公園の自然案内や野外活動の指導等を随時実施した。	公園を訪れる団体等からの要請に応じ、公園の自然案内や野外活動の指導等を随時実施した。	継続	自然案内や野外活動の指導、ボランティア活動イベント等の実施		
49			05環境	自然保護課 (いすみ環境と文化のさとセンター)		環境学習プログラムの実施	田植え(5月)、稲刈り(9月)、お飾りづくり(12月)など、季節に沿った行事を毎月実施している。また、生物の観察会の際には、生物への理解を深めるため、生態について説明を行っている。	主催事業 開催数:10回 参加者数:830名	各種プログラム・イベントに延べ1,152名が参加した。	各種プログラム・イベントに延べ885名が参加した。	継続	各種プログラム・イベントの実施		
50			05環境	自然保護課 (大房岬自然公園)		環境学習プログラムの実施	小学生を対象とした自然調査のプログラム(岬レンジャー)、公園内に生息する野生生物を観察する夜の生き物ツアーなどを実施し、自然についての体験と理解を深めるイベントを行っている。	主催事業 開催数:11回 参加者数:490名	各種プログラム・イベントに延べ768名が参加した。	各種プログラム・イベントに延べ778名が参加した。	継続	各種プログラム・イベントの実施		
51			05環境	自然保護課 (行徳鳥獣保護区)		環境学習プログラムの実施	行徳鳥獣保護区内において自然観察会を行う。	定例観察会 実施回数:20回 参加者数:延べ295人 ※コロナにより4月～10月は中止	・毎日曜祝日に鳥獣保護区を利用した観察会を開催した(年間約60回)	・毎日曜祝日に鳥獣保護区を利用した観察会を開催した(年間約56回)	継続	自然観察会の実施		
52			05環境	自然保護課		生命(いのち)のにぎわい調査団事業	生物多様性に関心が高い県民が調査団員となって、身近な生物や外来生物などについて発見情報を報告してもらう「生命のにぎわい調査団」を運営して、団員向けに届出書を発行する。	生命(いのち)のにぎわい調査団員数 1,618名 生命(いのち)のにぎわい通信の発行 年4回 団員向け野外研修会を2回開催	生命(いのち)のにぎわい調査団員数 1,733名 生命(いのち)のにぎわい通信の発行 年4回 団員向け野外研修会を2回開催	生命(いのち)のにぎわい調査団員数 1,810名 生命(いのち)のにぎわい通信の発行 年4回 団員向け野外研修会を2回開催	継続	・「生命のにぎわい調査団」の運営 ・生命(いのち)のにぎわい通信の発行 年4回 ・団員向け研修会 年2回		
53			05環境	循環型社会推進課	再掲	ちば環境学習応援団	講師派遣や施設見学、体験活動などに協力いただける事業者等を県のホームページ等で紹介し、県民などの自主的な環境学習や環境保全活動を支援する。	県ホームページを通じて登録団体を募集するとともに、県民等の環境学習に活用されるよう、広く制度の周知を行った。 登録団体数:延べ23団体 実施回数:211回 7,038名受講	県ホームページを通じて登録団体を募集するとともに、県民等の環境学習に活用されるよう、広く制度の周知を行った。 登録団体数:延べ27団体 実施回数:157回 3,139名受講	県ホームページを通じて登録団体を募集するとともに、県民等の環境学習に活用されるよう、広く制度の周知を行った。 登録団体数:延べ28団体 実施回数:326回 6,500名受講	継続	県ホームページへの掲載や広報チラシの作成等		
54			05環境	温暖化対策推進課		千葉県地球温暖化防止活動推進員出前講座	県内各地域で開催される研修会や講習会等に千葉県地球温暖化防止活動推進員を講師として派遣する。	派遣件数:103件、参加者数:4,210人 (令和4年3月末時点)	派遣件数:108件、参加者数:2,474人	派遣件数:100件、参加者数:3,274人	継続	出前講座への推進員の派遣		
55			05環境	環境研究センター		全国水生生物調査	身近な自然とふれあうことで、環境への関心を高めるとともに水質環境保全の普及啓発を図ることを目的として、全国水生生物調査の活動を支援する。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止	参加者:205名	参加者:178名	継続	全国水生生物調査の活動を支援する。		
56			05環境	環境研究センター		講師等の派遣事業	県、市町村、民間団体が開催する研修会、講習会等に講師を派遣する。	講師派遣数:36件	講師派遣数:30件	講師派遣数:38件	継続	公開講座の開催や研修会、講習会等に講師を派遣する。		
57			07農林	漁業資源課 (水産総合研究センター内水面水産研究所)		内水面水産研究所運営費	公民館やNPO団体主催の公開講座等に講師を派遣するとともに、県庁インターンシップ研修生や職場体験学習を受け入れ、内水面漁業や水産動植物に関する情報、水辺環境の保全に関する啓発を行い、環境学習を支援する。	講師派遣依頼等がないため、実績なし。	・佐倉市内の公民館が主催する公開講座に講師を派遣し、湖沼の生態系について情報提供した(1件)。	・佐倉市内の公民館等が主催する公開講座に講師を派遣し、湖沼の生態系について情報提供した(2件)。	継続	公民館やNPO団体主催の公開講座等に講師を派遣し、環境学習を支援する。		
58			07農林	漁業資源課 (水産総合研究センター内水面水産研究所)		内水面水産研究所運営費	各種の環境フェアに出展し、内水面漁業や水産動植物に関する情報、水辺環境の保全に関する啓発を行うことにより、環境学習を支援する。	環境フェア中止のため、出展無し	・一般公開等の開催が無く、実績なし。	・環境フェアの開催が無く、実績なし。	廃止	—		
59			09企業	計画課		水道出前講座	紙芝居や実験などを通して、水道水や千葉県営水道の安全でおいしい水づくりについてお知らせする水道出前講座を開催する。	小学生や一般のお客様を対象に、水道出前講座を37回実施し、紙芝居や実験などを通して、県営水道の安全でおいしい水づくりの周知を図った。	給水区域内の小学校や自治会などを対象として、水道出前講座を51回実施し、紙芝居や実験などを通して、県営水道の安全でおいしい水づくりの周知を図った。	給水区域内の小学校や自治会などを対象として、水道出前講座を32回実施し、紙芝居や実験などを通して、県営水道の安全でおいしい水づくりの周知を図った。	継続	給水区域内の小学校や自治会などを対象として、水道出前講座を実施		
60			(3)環境学習関連 施設等の活用と連携・協働の促進	・環境学習の機会を提供する社会教育施設や民間の学習施設、自然体験の場等の連携・協働を促進し、各施設等の質の向上を図るとともに、学校や地域等における活用促進を図ります。	09企業	計画課		おいしい水検定	オフィシャルサイトを通じて、安全でおいしい水道水全般に関する内容や県営水道の取組などについて出題し、お客様に解答いただくことで、水道水の理解を深めていただく。	県営水道の給水区域のお客様を対象に、おいしい水検定を実施するとともに、安全でおいしい水づくりの周知を図った。 参加者数:215名	給水区域のお客様を対象に、おいしい水検定を実施するとともに、安全でおいしい水づくりの周知を図った。 受検者数:446名	給水区域のお客様を対象に、おいしい水検定を実施するとともに、安全でおいしい水づくりの周知を図った。 受検者数:392名	継続	給水区域のお客様を対象に、おいしい水検定を実施
61					05環境	自然保護課 (いすみ環境と文化のさとセンター)		環境学習施設の利用	ネイチャーセンター(展示、図書、視聴覚コーナー、工作室等を設置)、生態園、デイキャンプ場などの自然環境と文化に関する情報の提供及び啓発を実施するとともに、センター地区を利用した環境学習の機会を提供する。	入館者数:6,516名	センター地区において、ガイドウォーク(410名参加)、ネイチャーセンターでミニ講座(10名参加)を実施した。	センター地区において、ガイドウォーク(763名参加)、ネイチャーセンターでミニ講座(35名参加)を実施した。	継続	センター地区を利用した環境学習の機会の提供等
62					05環境	自然保護課 (大房岬自然公園)		環境学習施設の利用	大房岬ビジターセンターにおいて、国定公園内に位置する大房岬の自然、地理、歴史、文化などに関する展示を行い、環境学習の素材を提供する。また、園内での危険生物等についての周知と対策について、インフォメーションセンター及びビジターセンターで掲示物を含め職員が啓発活動を行う。	ビジターセンター入館者数:4,321名	・ビジターセンター展示室において生体展示を実施した。 ・ビジターセンター入口にテレビモニターを設置し、生き物の動画等のスライドショーを流した。	・ビジターセンター展示室において生体展示を実施した。 ・ビジターセンター入口にテレビモニターを設置し、生き物の動画等のスライドショーを流した。	継続	展示等による環境学習素材の提供等
63					05環境	環境研究センター		環境研究センター施設見学・講義受け入れ・環境学習施設の利用	施設見学や講義の受け入れを行う。また、図書コーナーや展示コーナーを備え、環境に関する啓発事業を実施する。	施設見学数:3件	施設見学数:3件	施設見学数:5件	継続	施設見学・講義受け入れ・環境学習施設の運営を行う。
64					06商工	産業振興課		千葉県次世代エネルギーパーク	本県の地域特性であるエネルギー関連産業・設備の集積を活用し、エネルギー見学・体験施設をネットワーク化し、次世代エネルギー等について、県民等への理解増進を図る。	・ガイドブック(エネバガイド)の更新依頼対応 ・登録施設、見学内容の県ホームページへの掲載	・ガイドブック(エネバガイド)の更新依頼対応 ・登録施設、見学内容の県ホームページへの掲載	・ガイドブック(エネバガイド)の更新依頼対応 ・登録施設、見学内容の県ホームページへの掲載	継続	・ガイドブック(エネバガイド)の更新依頼対応 ・登録施設、見学内容の県ホームページへの掲載
65	07農林	森林課				教育の森整備事業	森林所有者の理解と協力の下に、森林・林業教育に適当な森林を「教育の森」として認定し、利活用を推進するため、整備を行う。	未実施	未実施	実績なし	廃止	—		
66	07農林	森林課				県民の森事業	自然体験等を通じて県民の健康増進及び青少年の健全な育成を図るため、県民の森(6施設)の管理運営を行う。	各施設において自然体験等イベント事業を実施した。 (施設利用者数 683,599人(6施設年間合計))	各施設において自然体験等イベント事業を実施した。 (施設利用者数 751,439人(6施設年間合計))	各施設において自然体験等イベント事業を実施した。 (施設利用者数 762,034人(6施設合計))	継続	各施設において自然体験等イベント事業を実施する。		
67	07農林	森林課				ちばの森体験活動事業	身近な森に触れ合う機会を提供し、森林の重要性について普及啓発を行う。	森林環境学習支援や自然体験等イベント事業を実施した。(3件)	新たな森林教育の場となる森林の整備を実施した。(1箇所)	市町村担当者や教育関係者向けに、森林環境教育を実施するために必要な研修を開催した。(1回)	廃止	—		
68	07農林	森林課				森林環境教育の森整備事業	里山活動団体や学校等が実施する森林環境教育の取組において、参加者を受け入れるために必要な整備等を行う。(※R4新規)	—	未実施	実績なし	廃止	—		

千葉県環境学習等行動計画 関連事業取組実績一覧

No	施策体系	主な取組	担当		再掲	事業名	事業概要	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
			部局	主務課 (実施機関)				事業実績	事業実績	事業実績	状況	事業予定
69			07農林	森林課		「県民参加の森づくり」ネットワーク支援事業	里山活動ボランティアや森林環境教育といった「県民参加の森づくり」を促進するため、県域で指導的活動を実施している団体のネットワーク化を支援するとともに、ネットワークを活用し、森林環境教育の実施に向けた市町村支援を行う。(※R6新規)	—	—	—	新規	・教育の森の現況調査や活用検討 ・森林環境教育等の研修実施 ・森林環境教育に取り組む市町村等の支援
70			05環境	文化振興課 (中央博物館)		講座・観察会「自然いろいろ」	地学・植物・動物などの多分野にまたがる内容を学ぶ講座や観察会等を行う。(旧事業「生態園観察会」「環境教育講座」「山のフィールドミュージアム」含)	13件の事業を計画していたが、コロナウイルス感染症対策のため3件のみ実施し、20名の参加者があった。	15回中、9回開催し、参加者は179人だった。中止6回のうち、5回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1回は荒天による。	—	廃止	環境学習・自然観察に関わる各種講座・観察会に統合
71			05環境	文化振興課 (中央博物館)		教員のための博物館の日	学校教員を対象とした講座(SDGsを学ぶ講座、博物館の利用についての研修会)	合計2回の講座を実施した。	博物館環境教育研修11人、教員のための博物館利用研修会20人、計31人が参加。	—	廃止	環境学習・自然観察に関わる各種講座・観察会に統合
72			05環境	文化振興課 (中央博物館)		講演会「菌類から見た生物多様性」	県内の研究機関の研究者(製品評価技術基盤機構[NITE]、かずさアカデミアパーク内)3名、及び室本暁子氏(元千葉県県知事)を演者に迎え、国内・外における生物資源収集と保存事業の内容と意義、そして生物多様性に関する講演会をおこなう。	—	対面で40人、オンラインで71人の参加があった。	—	廃止	環境学習・自然観察に関わる各種講座・観察会に統合
73			05環境	文化振興課 (中央博物館)		環境学習・自然観察に関わる各種講座・観察会	環境について学ぶ講座や野外の自然・生きものを観察する観察会等の各種行事を実施する。	—	—	環境について学ぶ講座や野外の自然・生きものを観察する観察会等の各種行事を実施した。 ・講座・観察会「自然いろいろ」14回、参加者数300人 ・「教員のための博物館の日」2回、参加者数47人 ・講演会「菌類から見た生物多様性」3回、参加者数521人	継続	環境について学ぶ講座や野外の自然・生きものを観察する観察会等の各種行事の実施を予定している。 ・講座・観察会「自然いろいろ」14回 ・「教員のための博物館の日」2回 ・環境教育講座3回
74			05環境	文化振興課 (中央博物館)		春の展示「うめ・もも・さくら」	春を代表するうめ、もも、さくらについて、標本や浮世絵から紹介する。	—	—	—	廃止	—
75			05環境	文化振興課 (中央博物館)		生態園トピックス展 「生態園の外来哺乳類」	生態園で見られるアライグマなどの外来哺乳類について紹介する。	—	—	—	廃止	—
76			05環境	文化振興課 (中央博物館)		自然誌フェスタ千葉	千葉の自然や文化にかかわる市民活動の成果を展示や体験イベントとおして紹介する。	コロナウイルス感染症の流行終息が見通せないため、企画しなかった。	11月3日(文化の日)に開催し、9団体が出展、996人の来場者があった。	11月3日(文化の日)に開催し、10団体が出展、1457人の来場者があった。	継続	11月3日(文化の日)に予定している。
77			05環境	文化振興課 (中央博物館大根分館)		講座「水郷の自然と歴史」	水郷地域の自然と人々の暮らしについて、人文、自然など様々な視点からアプローチする講座を実施する。	開催日:5月1日、29日、6月12日、7月17日、9月18日、3月13日(未実施) 参加者数:5月~9月56人	—	—	廃止	—
78			05環境	文化振興課 (中央博物館大根分館)		川のフィールドミュージアム「生きもの調査隊」	香取市の水郷地帯をフィールドに、鳥類などの観察会・報告会を行う。	コロナウイルス感染症対策のため中止。	川のフィールドミュージアム「生きもの調査隊」による野鳥観察報告会 参加者:9名	—	廃止	—
79			05環境	文化振興課 (中央博物館大根分館)		春の展示「うめ・もも・さくら」	春を代表するうめ、もも、さくらについて、標本等から紹介する。令和2年度中央博物館本館巡回展示	会期:4月1日(水)~5月5日(水・祝) 入場者数:323人	—	—	廃止	—
80			05環境	文化振興課 (中央博物館大根分館)		かわいいカモをつくろう	木質プラスチックのカモ等の模型を着色する。	実施日:4月29日、5月5日、7月21日、22日、8月13日、14日 体験者数:247人	—	—	廃止	—
81			05環境	文化振興課 (中央博物館大多喜城分館)		博物館セミナー「大多喜を学ぶ」きのご観察会	大多喜城分館周辺を散策しながら、自生しているきのこを探し、その種別を同定する観察会を実施する。	会期:10月2日(土) 参加者数:5人	—	—	廃止	—
82			05環境	文化振興課 (中央博物館分館海の博物館)		海の生きものを観察する各種行事	観察会やフィールドトリップなど、博物館の目の前の磯で、海の生きものを観察する各種行事を実施する。	実施:14件。参加者98人(3月末時点) ※計画20件、うち荒天等により6件中止	観察会7件(うち1件は荒天のため中止)、参加者数76名 海の生き物観察ツアー12件、参加者数140名 みんなで工作3件、59名 合計57件で参加者数627名の参加があった。(2024年3月末時点)	継続	・観察会やフィールドトリップなど、博物館の目の前の磯で、海の生きものを観察する各種行事を実施する。 ・実施予定件数:63件	
83			05環境	文化振興課 (中央博物館分館海の博物館)		海の生きものに関する展示会	収蔵資料展、マリンサイエンスギャラリーなど、海の生きものを紹介する展示会を実施する。	件数:2件。参加者数27,231人 ※新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言による休館明け後の会期延長期間あり。	・令和4年度収蔵資料展「九十九里浜の海の生きもの」:会期2022年7月16日~9月4日、入場者数17,825名 ・令和4年度マリンサイエンスギャラリー「房総の魚名魚・珍魚・ふつうの魚」:会期2023年2月23日~5月7日、入場者数14,640名(内R4年度内6,557名)	・令和5年度収蔵資料展「千葉県勝浦沖キンメ場の魚」:会期2023年7月15日~9月3日、入場者数17,998人 ・令和5年度秋の企画展示「海の生きもの古い図鑑—明治から昭和初期まで—」:会期2023年10月21日~2024年1月14日、入場者数8,682人 ・令和5年度マリンサイエンスギャラリー「アサクサノリ2—ノリの世界—」:会期2024年2月23日~5月6日、入場者数5,983人(2024年3月末時点)	継続	・令和6年度夏休みスペシャル「勝浦・磯の生きものミニ水族館」 ・令和6年度マリンサイエンスギャラリー「超深海」
84			05環境	文化振興課 (中央博物館)		春の展示「ノスタルジック・ポストカード」	環境の変化を読み取るためのツールとしての絵はがきの有効性について紹介する。	会期:令和3年3月23日(火)~5月30日(日) 令和3年度入場者数:6,607名(4月1日~5月30日)	—	—	廃止	—
85			05環境	文化振興課 (中央博物館)		春の展示「九十九里の自然誌」	九十九里浜の動植物や人とのかかわり、現在の危機的状況について紹介する。	会期:令和3年3月23日(火)~3年5月30日(日) 令和3年度入場者数:6,607名 (令和3年4月1日~5月30日)	—	—	廃止	—
86			05環境	文化振興課 (中央博物館)		生態園トピックス展 「タネの大冒険」	生態園で見られる身近な植物からちよつと変わった植物まで、タネの秘密について紹介する。	—	—	—	廃止	—
87			05環境	文化振興課 (中央博物館)		生態園トピックス展 「身近なコケ」	生態園や身近な街中に生えているコケ植物を通して、コケ植物の不思議な暮らし方と知られざる正体について紹介する。	会期:令和3年3月27日(土)~5月23日(日) ※土日祝祭日のみ(令和3年度開催日数:20日) 令和3年度入場者数:6,186名(4月1日~5月23日)	—	—	廃止	—
88			05環境	文化振興課 (中央博物館大根分館)		夏休み展示「カミツキガメ」	夏休み展示「カミツキガメ」令和元年の本館展示のダイジェスト版展示で、当館の水槽で飼っているカミツキガメ等について紹介する。	—	—	—	廃止	—

千葉県環境学習等行動計画 関連事業取組実績一覧

No	施策体系	主な取組	担当		再掲	事業名	事業概要	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
			部局	主務課 (実施機関)				事業実績	事業実績	事業実績	状況	事業予定
89			05環境	文化振興課 (中央博物館)		夏の展示「うみ鳥つぐ」	さまざまな海の環境をうまく利用して暮らす海鳥。そんな海鳥の目線で、島や半島の魅力を紹介する。	会期:7月3日(土)~9月12日(日) 入場者数:12,195名	—	—	廃止	—
90			05環境	文化振興課 (中央博物館)		特別展「バラのすべて」	花の女王、バラ。バラのすべてを植物学、園芸、美術史等さまざまな視点から紹介する。	会期:10月9日(土)~11月28日(日) 入場者数:11,689名	—	—	廃止	—
91			05環境	文化振興課 (中央博物館)		春の展示「苔松・苔梅」	日本文化に現れた苔(地衣類)を写真で紹介するとともに、地衣類の知られざる不思議な世界について紹介する。	会期:令和4年1月8日(土)~5月8日(日) 入場者数:10,370名(3月末時点)	令和4年度の開催日数は32日間で、5,603名が来園した。	—	廃止	—
92			05環境	文化振興課 (中央博物館)		生態園トピックス展「生態園の虫たち」	生態園で見られる多くの昆虫やクモなどの虫たちを写真と標本で紹介する。	会期:6月8日(火)~9月5日(日) ※土日祝日および県民の日(開催日数:30日間) 入場者数:5685名	—	—	廃止	—
93			05環境	文化振興課 (中央博物館)		生態園トピックス展「カエル」	生態園で見られる多くの昆虫やクモなどの虫たちを写真と標本で紹介する。	会期:令和4年3月1日(火)~5月15日(日) 入場者数:未実施	令和4年度の開催日数は37日間で、8,393名が来園した。	—	廃止	—
94			05環境	文化振興課 (中央博物館)		特別展「鯨」	大規模な鯨の展示会。鯨の進化や生態から人と鯨のかかわりまで、様々な角度で鯨の魅力を紹介する。	—	64日間開催し、25,475人が来場した。	—	廃止	—
95			05環境	文化振興課 (中央博物館)		秋の展示「おはまおりー海へ向かう神々」	海とともに生きてきた人々の暮らしや祭礼文化から、房総のおはまおりの謎と魅力に迫る。	—	62日間開催し、10,502人が来場した。	—	廃止	—
96			05環境	文化振興課 (中央博物館)		春の展示「ちばの植物探検隊ーさあ、植物調査の旅に出ようー」	千葉県での植物相調査を基盤にして、千葉県の植物を紹介する。	—	令和4年度は18日間開催し、2,518名が来場した。	令和5年度は49日間開催し、6,903名が来場した。	廃止	—
97			05環境	文化振興課 (中央博物館)		生態園トピックス展「第11回生態園ギャラリー」	生態園で撮影した写真と五七五調の説明文の作品を来園者から募集して園内で展示し、投票によって優秀作品を選びます。	—	54日間開催し、5,923名が来園した。	—	廃止	—
98			05環境	文化振興課 (中央博物館)		生態園トピックス展「生態園の意外な動物たち」	生態園や青葉の森公園で生活する鳥類や哺乳類、昆虫などの動物を紹介します。	—	令和4年度は28日間開催し、3,998名が来園した。	令和5年度は153日間開催し、13,166名が来園した。	廃止	—
99			05環境	文化振興課 (中央博物館)		特別展「よみがえるチバニアン期の古生物」	チバニアン期の海に生息したクジラやアシカ、大地に生息した3種類のゾウやシカなどの古生物を展示し、チバニアン期がどのような時代だったのかを紹介する。	—	—	59日間開催し、19,430名が来館した。	廃止	—
100			05環境	文化振興課 (中央博物館)		秋の展示「手のひらのメディアー吉澤貞一マツチラベルコレクション」	日本最大のマツチラベルコレクションを通して、近代日本においてマツチラベルが果たした役割について紹介する。	—	—	72日間開催し、12,137名が来館した。	廃止	—
101			05環境	文化振興課 (中央博物館)		春の展示「理科室のタイムマシン 学校標本」	県内各地の学校に残る古い生物標本や生物部誌を紹介する。	—	—	令和6年3月9日から5月12日まで開催の予定。3月31日時点で7,041名が来館した。	廃止	—
102			05環境	文化振興課 (中央博物館)		トピックス展「千葉の外來昆虫最前線！」	千葉県に生息する外來昆虫の生態や識別方法を紹介する。	—	—	51日間開催し、5,062名が来館した。	廃止	—
103			05環境	文化振興課 (中央博物館)		トピックス展「関東大震災から100年」	100年前の関東大震災を引き起こした地震の特徴を解説し、被害の様子を当時の絵がきや石碑から紹介する。	—	—	49日間開催し、15,963名が来館した。	廃止	—
104			05環境	文化振興課 (中央博物館)		生態園トピックス展「舟田池の生きもの」	魚を主役とした舟田池の生態系を紹介する。	—	—	59日間開催し、7,440名が来園した。	廃止	—
105			05環境	文化振興課 (中央博物館)		生態園トピックス展「生態園の野鳥たち」	生態園で見られる多くの野鳥たちを、標本や写真などで紹介する。	—	—	令和6年2月20日から7月7日まで開催予定。3月31日時点で4,545名が来園した。	廃止	—
106			05環境	文化振興課 (中央博物館)		トピックス展「生命(いのち)にぎわい 生命のにぎわい調査団・生物多様性写真展」	千葉県生物多様性センターの事業「生命のにぎわい調査団」の団員が撮影した写真を展示し、身近な生き物の魅力を伝えるとともに、生き物の生態について紹介する。	—	令和4年度は22日間開催し、2,787名が来館した。	令和6年3月5日より5月6日まで開催の予定。3月31日時点で7,445名が来館した。	継続	令和7年3月以降に2か月間ほど開催予定。詳細は未定。
107			05環境	文化振興課 (中央博物館)		生態園トピックス展「生態園の野鳥たち」	生態園で見られる多くの野鳥たちを、標本や写真などで紹介する。	—	—	—	新規	会期:令和6年2月20日(火)~7月7日(日)
108			05環境	文化振興課 (中央博物館)		春の展示「理科室のタイムマシン 学校標本」	県内各地の学校に残る古い生物標本や生物部誌を紹介する。	—	—	—	新規	会期:令和6年3月9日(土)~5月12日(日)
109			05環境	文化振興課 (中央博物館)		文化庁合同特別展示「発掘された日本列島」(地域展「大多喜台古墳群の鏡がうつし出す時代」)	近年の発掘調査で注目を集めた遺跡や全国各地の歴史を紹介する。地域展では大多喜台古墳群出土の鏡について紹介する。	—	—	—	新規	会期:令和6年6月8日(土)~7月15日(月・祝)
110			05環境	文化振興課 (中央博物館)		特別展「万祝博覧会ー海をまとうー」	大漁などを祝って作る漁師の祝い着「万祝」をさまざまな視点から紹介する。	—	—	—	新規	会期:令和6年7月27日(土)~9月29日(日)

千葉県環境学習等行動計画 関連事業取組実績一覧

No	施策体系	主な取組	担当		再掲	事業名	事業概要	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
			部局	主務課 (実施機関)				事業実績	事業実績	事業実績	状況	事業予定
111			05環境	文化振興課 (中央博物館)		秋の展示「二口義雄植物画展」	日本の植物画家の草分けである二口義雄氏の原画を展示する。	—	—	—	新規	会期:令和6年10月12日(土)～11月24日(日)
112			05環境	文化振興課 (中央博物館)		生態園トピックス展「生態園の地衣類」	生態園に生育する地衣類を紹介する。	—	—	—	新規	会期:令和6年10月16日(水)～12月22日(日)
113			05環境	文化振興課 (中央博物館)		トピックス展「地中からのメッセージ～旧石器・縄文・弥生～」	千葉県教育振興財団が発掘した旧石器・縄文・弥生時代の考古資料を展示する。	—	—	—	新規	会期:令和6年12月21日(土)～令和7年2月9日(土)
114			05環境	文化振興課 (中央博物館)		トピックス展「十二支にちなんで～巳年～」	令和7年の十二支である「巳(蛇)」にかかわる資料を展示する。	—	—	—	新規	会期:令和6年12月24日(火)～令和7年1月26日(日)
115			05環境	文化振興課 (中央博物館)		生態園トピックス展「生態園からはじめる房総の自然観察」	生態園のモデルとなった房総の現地の自然について紹介する。	—	—	—	新規	会期:令和7年2月1日(土)～6月1日(日)
116			05環境	文化振興課 (中央博物館)		春の展示「房総のミニチュア「生態園」～日本初のエコロジィ・パークの35年～」	生態園を調べ続けてきた研究員たちの35年間の活動とその成果を紹介する。	—	—	—	新規	会期:令和7年2月22日(土)～5月6日(火・休)
117			05環境	文化振興課 (現代産業科学館)		工作教室	電気の省エネを進めるため、太陽電池やLEDを使ったライトを作成するなどし、環境について学習する。	「科学館わくわく教室(LEDミニライトをつくろう)」をコロナ感染症対策をしながら実施 参加者数:68名	年間3回「LEDミニライトをつくろう」を実施し、総計参加者161名。LED(ボタン電池)、アルミテープ、型紙等を材料に、LEDの特性を学びながら懐中電灯(LEDミニライト)を製作した。	講座前半で、LEDの特性や電球との違いを映像資料や実際に体験しながら学んでもらい、後半で実際にLEDミニライト作りを体験した。総参加者123名。LEDの仕組みや用途なども含め、エネルギー科学に対する興味・関心を高めることができた。	継続	引き続き、LEDミニライト作りを通してLEDライトの特性を学んでもらい、参加者の科学への興味関心を高めさせていく。
118			05環境	文化振興課 (現代産業科学館)		タリッ号乗車会	太陽光発電について学び、電気自動車に乗る。	R3年度休止	充電装置部分その他各所の経年劣化により故障が多発。補充部品も特別仕様車のため調達不可。事業として乗車会を廃止せざるを得ない状況となった。	—	廃止	—
119			05環境	文化振興課 (現代産業科学館)		常設展示「地球環境を守る技術」	化石燃料に替わるエネルギー供給源として、太陽光発電、バイオエタノールや水素を使った燃料電池、風力発電などを、パネルや実験装置等により紹介	常設展示見学者:35,000人	見学者数61,875名 自然エネルギーを利用して調理を行うため、化石燃料を利用したときのような二酸化炭素の排出がない「太陽熱調理器」を展示更新した。	自然エネルギーを利用して調理を行うため、化石燃料を利用したときのような二酸化炭素の排出がない「太陽熱調理器」を展示した。今後、洗浄廃水により環境を汚さない技術を紹介する予定。	継続	引き続き、地球環境を守るための様々な科学技術を紹介していく。
120			05環境	文化振興課 (現代産業科学館)		常設展示「地球環境の変化」	地球温暖化、酸性雨、オゾン層の破壊などをパネルにより紹介併せて、アルミ、ガラス、PETのリサイクルについて、パネルや実物資料を交え紹介	常設展示見学者:35,000人	見学者数61,875名	見学者数89,072名(3月末時点)	継続	引き続き、地球環境の変化と人間活動との関わりや環境負荷を低減させるための取組などを紹介していく。
121			05環境	文化振興課 (関宿城博物館)		河川敷のいきものさがし	利根川・江戸川の河川敷に生息するいきもの観察を行う。	子供向け:10名 一般向け:6名 参加(各1回開催)	河川敷のいきものさがし 年2回実施 26名参加。	年2回実施。延べ12名参加。	継続	小学生向け・一般向け各1回を実施予定。
122			05環境	文化振興課 (関宿城博物館)		博物館セミナー	関宿周辺の動植物や河川について学ぶ	実施回数:3回 参加者総勢:52名 内訳:7/11:10名 12/12:14名 1/16:14名 3/13:14名	博物館セミナー 年7回実施、139名参加	年7回実施。延べ152名参加。	継続	各テーマに合わせて計7回実施予定。
123			05環境	文化振興課 (房総のむら)		里山観察会	植物や昆虫、小動物などが棲む、房総のむらに残る落葉広葉樹林・アカマツ林による里山を観察する。	参加者数 10月10日 10人 11月27日 10人	10月8日 野生のきのこ(参加者:8人) 11月26日 コケ植物(参加者:5人)	10月14日 野生のきのこ(参加者:13人) 11月25日 こけ植物(参加者4人)	継続	10月19日 野生のきのこ 11月23日 コケ植物
124			05環境	文化振興課 (房総のむら)		子ども里山観察会	親子を対象に、体験的な観察会や教室を行う。	7月10日 18人 9月25日 13人	台風のため中止	7月8日 夜の虫たち(参加者:8人) 7月22日 里山の虫たち(参加者:2人) 10月7日 やさしいきのご観察会(参加者:6人)	継続	7月6日 夏の夜の虫たち 10月13日 やさしいきのご観察会
125			05環境	文化振興課 (房総のむら)		野鳥観察会	房総のむら及び周辺で見られる冬の野鳥を観察する。	2月19日 15人	2月17日 野鳥観察会(参加者:3人)	2月17日 野鳥観察会(参加者:8人)	継続	2月8日 野鳥観察会
126			10教育	生涯学習課		青少年教育施設管理費	団体生活や自然体験等を通じて青少年の健全育成を図るため、青少年教育施設(5施設)を管理運営する。	各施設において、自然体験事業等を実施した。 ・利用者数 112,671人 (5施設合計R4.3.31時点) ・宿泊者数 35,089人 (5施設合計R4.3.31時点) ・利用団体数 2,334団体 (5施設合計R4.3.31時点)	各施設において、自然体験事業等を実施した。 ・利用者数 156,449人 (5施設合計R5.3.31時点) ・宿泊者数 62,607人 (5施設合計R5.3.31時点) ・利用団体数 2,599団体 (5施設合計R5.3.31時点)	各施設において、自然体験事業等を実施した。 ・利用者数 183,587人 (5施設合計R6.3.31時点) ・宿泊者数 74,356人 (5施設合計R6.3.31時点) ・利用団体数 2,618団体 (5施設合計R6.3.31時点)	継続	各施設において、自然体験事業等を実施する。
127	(4) イベント等の実施を通じた参加機会の充実	・環境保全に取り組む多様な主体が集まるイベントや、環境への意識向上を図るためのキャンペーン・コンクール等の実施により、環境学習等へ参加する機会の充実を図ります。	02総企	水政課	本籍	全日本中学生水の作文コンクール	「水の日」及び「水の週間」関連行事の一環として、次代を担う中学生を対象に作文を募集する。(テーマ「水について考える」)なお、優秀な作文について表彰式を執り行う。	県内各地から過去最多の1031編の応募があり、最優秀賞1編、優秀賞2編、奨励賞2編、学校賞3校を選定した。(主催者:水循環政策本部・国土交通省・千葉県) 1. 作品募集 募集テーマ:「水について考える」、募集対象者:県内在住・在学の中学生、募集期間:3月1日～5月9日、応募数:275編 2. 表彰 入賞者を県庁に招いて表彰式を実施。	県内各地から275編の応募があり、最優秀賞1編、優秀賞2編、奨励賞2編、学校賞3校を選定した。(主催者:水循環政策本部・国土交通省・千葉県) 1. 作品募集 募集テーマ:「水について考える」、募集対象者:県内在住・在学の中学生、募集期間:3月1日～5月9日、応募数:275編 2. 表彰 千葉県自治会館にて表彰式を実施。	県内各地から118編の応募があり、最優秀賞1編、優秀賞2編、奨励賞2編、学校賞1校を選定した。(主催者:水循環政策本部・国土交通省・千葉県) 1. 作品募集 募集テーマ:「水について考える」、募集対象者:県内在住・在学の中学生、募集期間:3月1日～5月9日、応募数:118編 2. 表彰 千葉県自治会館にて表彰式を実施。	継続	募集テーマ:「水について考える」 募集対象:県内在住・在学の中学生 募集期間:3月8日～5月9日必着
128			05環境	自然保護課		愛鳥週間行事(探鳥会・ポスターコンクール)	愛鳥週間(5月10日～5月16日)期間中に、野鳥の専門家と一緒に行徳湿地を散策し、野鳥等の自然の生物を観察することにより、鳥獣保護思想の普及啓発を図る。 また、県内の小・中・高等学校の児童・生徒を対象に、日本に生息する野鳥を題材としたポスターコンクールを開催し、制作過程を通じて愛鳥思想の高揚を図るとともに、入賞作品を展示することにより一般県民への野鳥保護思想の普及啓発を図る。	愛鳥週間ポスターコンクールの実施及び入賞作品の展示 探鳥会は中止	愛鳥週間ポスターコンクールを実施し、県内3か所で行った。	愛鳥週間ポスターコンクールを実施し、県内3か所で行った。	継続	・愛鳥週間ポスターコンクールの実施及び入賞作品の展示
129			05環境	循環型社会推進課	本籍	エコメッセちば	持続可能な社会作りのため、環境への意識を高め、環境保全行動を促進することを目的に、環境活動見本市であるエコメッセを市民・大学・企業・行政などの協働により開催する。	出展団体数:60団体 視聴数:11,761 R4.1.31時点 ※新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインで開催	県下最大の環境見本市「エコメッセ2022inちば」を開催した。 会場出展:50団体 入場者1219人 オンライン出展33団体 視聴数:7,033 R5.1.31時点	県下最大の環境見本市「エコメッセ2023inちば」を開催した。 会場出展:65団体 入場者2,300人 オンライン出展20団体 視聴数:6,426 R6.1.31時点	継続	エコメッセちば2024の開催

千葉県環境学習等行動計画 関連事業取組実績一覧

No	施策体系	主な取組	担当		再掲	事業名	事業概要	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
			部局	主務課 (実施機関)				事業実績	事業実績	事業実績	状況	事業予定
130			05環境	循環型社会推進課	本籍	環境月間ポスター作品の募集・表彰	環境月間の作品(ポスター)を募集し、その中から特に優秀な作品に対して表彰するとともに、作品を環境保全意識の普及啓発に活用する。	応募数936作品のうち、最優秀賞1、特選3、準特選6、奨励賞72の作品を表彰した。このうち準特選以上の10作品を、県内商業施設及び県庁にて展示を行った。 ※新型コロナウイルス感染症の影響により表彰式は中止	応募数1,237作品のうち、最優秀賞1、特選3、準特選6、奨励賞72の作品を表彰した。このうち準特選以上の10作品について表彰式を開催し、県庁にて入賞作品の展示を行った。	応募数1,087作品のうち、最優秀賞4、優秀賞8、奨励賞71の作品を表彰した。このうち優秀賞以上の12作品について表彰式を開催し、奨励賞以上の83作品について県立美術館にて入賞作品の展示を行った。	継続	環境月間ポスターの表彰の実施
131			08県土	葛南土木事務所		真間川流域総合治水対策協議会 絵画コンクール	総合治水対策の推進にあたり、地域に住む人々に治水や河川環境の保全の取り組みについて理解し協力を得る必要があることから、次代を担う子供達である小学生を対象に治水対策や河川愛護への理解を深めるため、絵画コンクールを実施した。	市川市、船橋市、松戸市、鎌ヶ谷市内の小学校を対象に募集を行い、令和4年1月31日に審査会を実施。応募総数: 327作品 受賞総数: 42作品 (最優秀賞: 3、優秀賞: 8、佳作: 10、努力賞: 21)	市川市、船橋市、松戸市、鎌ヶ谷市内の小学校を対象に募集を行い、令和5年1月31日に審査会を実施。応募総数: 273作品 受賞総数: 42作品 (最優秀賞: 4、優秀賞: 8、佳作: 10、努力賞: 20)	市川市、船橋市、松戸市、鎌ヶ谷市内の小学校を対象に募集を行い、令和6年1月18日に審査会を実施。応募総数: 291作品 受賞総数: 42作品 (最優秀賞: 4、優秀賞: 8、佳作: 10、努力賞: 20)	継続	市川市、船橋市、松戸市、鎌ヶ谷市内の小学校を対象に募集を行い、令和7年1月に審査会を実施予定。
132			08県土	公園緑地課		県庁緑のカーテン 苗の植付けイベント	小学生に苗を植え付けてもらうことによって緑のカーテンについて知ってもらい、都市緑化の必要性、屋上・壁面緑化の効果や地球温暖化についての学習の機会を提供する。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止。	苗の植え付けイベントに代わり、苔テラリウム体験イベントを実施した。	廃止	—
133			08県土	公園緑地課		苔玉体験イベント	講師を招き、緑の創出に関連した体験型イベント(苔玉体験)を開催し、都市緑化の必要性や地球温暖化についての学習の機会を提供する。	—	—	講師の方を招いて苔テラリウム体験イベントを令和6年1月27日に実施した。	継続	緑に対する意識や関心を高めることを目的とする体験型イベントを実施する
134			09企業	業務振興課		水道週間ポスター・標語コンクール	水道について広くお客様に知っていただき、水道事業が今後も発展していくことを目的とし、毎年「水の大切さ」や「くらしを支える水道水」を呼び掛けるポスターまたは標語を募集する。	第63回水道週間「ポスター・標語コンクール」の表彰及び入賞作品の展覧会を実施した。 環境活動見本市等普及啓発支援事業として活用し、「水の大切さ」等の啓発を目的とした配布、掲示を行った。	・第64回水道週間「ポスター・標語コンクール」の表彰及び入賞作品の展覧会を実施した。 また、作品を広報用ポスターとして活用し、「水の大切さ」等の啓発を目的とした配布、掲示を行った。 ・第65回水道週間に向けた作品募集及び広報活動を実施した。	・第65回水道週間「ポスター・標語コンクール」の表彰及び入賞作品の展覧会を実施した。 また、作品を広報用ポスターとして活用し、「水の大切さ」等の啓発を目的とした配布、掲示を行った。 ・第66回水道週間に向けた作品募集及び広報活動を実施した。	継続	・第66回水道週間「ポスター・標語コンクール」の開催(受賞者の表彰及び入賞作品展覧会の実施(そごう千葉店や県立美術館等の県内施設)) ・第67回水道週間に向けた作品募集及び広報活動の実施
135	5 活動基盤の充実	(1)環境関連基金の活用	05環境	循環型社会推進課		ちば環境再生基金の活用	(一財)千葉県環境財団に設置されている「ちば環境再生基金」が実施する環境学習等への助成事業の活用を促進し、学校や地域における継続的かつ安定的な活動を支援する。 ・地域住民への環境保全の知識の普及、地域の環境保全のための実践活動に対する支援等に関する事業を継続的かつ着実に実施するために設置している「千葉県地域環境保全基金」を活用し、環境学習等の推進を図ります。	・県民の環境活動への支援事業(68事業 11,163千円) ・提案型環境再生事業(1事業2,200千円) ・環境活動見本市等普及啓発支援事業(1事業1,245千円) ・未来の環境活動担い手支援事業(4事業 400千円) ・ちば廃食油燃料利用促進プロジェクト事業(4事業 400千円)	・県民の環境活動への支援事業(82事業13,783千円) ・提案型環境再生事業(1事業2,200千円) ・環境活動見本市等普及啓発支援事業(1事業1,938千円) ・未来の環境活動担い手支援事業(3事業300千円) ・ちば廃食油燃料利用促進プロジェクト事業(3事業 300千円)	・県民の環境活動への支援事業(87事業14,307千円) ・提案型環境再生事業(1事業2,000千円) ・環境活動見本市等普及啓発支援事業(1事業2,072千円) ・未来の環境活動担い手支援事業(4事業400千円) ・廃食油燃料利用促進プロジェクト事業(3事業250千円)	継続	・県民の環境活動への支援事業 ・提案型環境再生事業 ・環境活動見本市等普及啓発支援事業 ・未来の環境活動担い手支援事業 ・廃食油燃料利用促進プロジェクト事業
136			05環境	循環型社会推進課		地域環境保全基金の活用	地域住民への環境保全の知識の普及、地域の環境保全のための実践活動に対する支援等に関する事業を継続的かつ着実に実施するために設置している地域環境保全基金を活用し、環境学習等の推進を図る。	以下事業の財源として活用した。 ・環境学習等促進事業 ・地域の地球温暖化対策推進のための普及啓発事業 ・生物多様性保全の普及啓発事業 ・印刷沼・手賀沼環境保全対策事業	以下事業の財源として活用した。 ・環境学習等促進事業 ・地域の地球温暖化対策推進のための普及啓発事業 ・生物多様性保全の普及啓発事業 ・印刷沼・手賀沼環境保全対策事業	以下事業の財源として活用した。 ・環境学習等促進事業 ・地域の地球温暖化対策推進のための普及啓発事業 ・生物多様性保全の普及啓発事業 ・印刷沼・手賀沼環境保全対策事業	継続	以下事業の財源として活用する。 ・環境学習等促進事業 ・地域の地球温暖化対策推進のための普及啓発事業 ・生物多様性保全の普及啓発事業 ・印刷沼・手賀沼環境保全対策事業
137		(2)民間資金の活用	05環境	循環型社会推進課		民間資金に関する情報提供	民間団体や事業者が保有する環境関連基金や資金に関する情報収集・情報提供を行う。	SNSを活用し、民間団体等の環境関連基金や資金に関する情報提供を行った。	民間団体や事業者が保有する環境関連基金や資金に関する情報収集・情報提供を行った。	民間団体や事業者が保有する環境関連基金や資金に関する情報収集・情報提供を行った。	継続	民間団体や事業者が保有する環境関連基金や資金に関する情報収集・情報提供を行う。
138		(3)表彰の実施	05環境	環境政策課		千葉県環境功労者表彰	県内における環境美化又は環境保全活動の推進に顕著な功績のあった個人又は団体への表彰を実施する。	・環境功労者表彰の実施贈呈 7者(個人4名、3団体) ※新型コロナウイルス感染症の影響により表彰式は中止 (1)日時 令和4年6月29日(水) (2)場所 県庁本庁舎5階 大会議室	千葉県環境功労者知事感謝状を10者(個人6名、4団体)に贈呈した。 【表彰式】 (1)日時 令和5年6月12日(月) (2)場所 県庁本庁舎5階 大会議室	千葉県環境功労者知事感謝状を10者(個人9名、1団体)に贈呈する。 【表彰式】 (1)日時 令和6年6月13日(木) (2)場所 県庁本庁舎5階 大会議室	継続	千葉県環境功労者知事感謝状を10者(個人9名、1団体)に贈呈する。 【表彰式】 (1)日時 令和6年6月13日(木) (2)場所 県庁本庁舎5階 大会議室
139			05環境	循環型社会推進課	再掲	環境月間ポスター作品の募集・表彰	環境月間の作品(ポスター)を募集し、その中から特に優秀な作品に対して表彰するとともに、作品を環境保全意識の普及啓発に活用する。	応募数936作品のうち、最優秀賞1、特選3、準特選6、奨励賞72の作品を表彰した。このうち準特選以上の10作品を、県内商業施設及び県庁にて展示を行った。 ※新型コロナウイルス感染症の影響により表彰式は中止	応募数1,237作品のうち、最優秀1、特選3、準特選6、奨励賞72の作品を表彰した。このうち準特選以上の10作品について表彰式を開催し、県庁にて入賞作品の展示を行った。	応募数1,087作品のうち、最優秀賞4、優秀賞8、奨励賞71の作品を表彰した。このうち優秀賞以上の12作品について表彰式を開催し、奨励賞以上の83作品について県立博物館にて入賞作品の展示を行った。	継続	環境月間ポスターの表彰の実施
140		(4)調査研究	05環境	循環型社会推進課		環境保全に関する県民意識等の把握	県民の環境保全に関する意識や具体的な環境保全活動への参加状況等について継続的に把握する。	県政世論調査において県民の環境保全に関する意識や具体的な環境保全活動への参加状況等を把握した。	県政世論調査において県民の環境保全に関する意識や具体的な環境保全活動への参加状況等を把握した。	県政世論調査において県民の環境保全に関する意識や具体的な環境保全活動への参加状況等を把握した。	継続	県政世論調査において県民の環境保全に関する意識や具体的な環境保全活動への参加状況等を把握する。
141			05環境	循環型社会推進課		先進事例等の調査・研究	国や他自治体等における環境学習等の取組状況や先進事例等についての情報収集を行う。	施策立案の参考とするため、国や他自治体等における環境学習等の取組状況や先進事例等についての情報収集を行った。	機会を捉え、国や他自治体等における環境学習等の取組状況や先進事例等についての情報収集を行っている。	機会を捉え、国や他自治体等における環境学習等の取組状況や先進事例等についての情報収集を行っている。	継続	国や他自治体等における環境学習等の取組状況や先進事例等についての情報収集を行う。
142	6 協働取組の推進	(1)多様な主体との連携・協働の推進	05環境	環境政策課		三番瀬ミーティングの開催	多様な主体から意見聴取する場として、漁業関係者、地元住民、NPOなどが参加する「三番瀬ミーティング」を開催する。	書面開催し、結果をホームページに掲載した。 (令和4年11月16日～11月30日、県HP等により意見を募集)	三番瀬ミーティングを書面開催した。 (令和4年11月16日～11月30日、県HP等により意見を募集)	三番瀬ミーティングを開催した。 (令和5年11月25日開催。参加者21名。)	継続	三番瀬ミーティングを開催する。
143			05環境	循環型社会推進課		環境学習等に関する交流・協働の場づくり	環境学習等に取り組む多様な主体間の交流・情報交換の機会を提供し、連携・協働した取組を推進する。	効果的な交流・協働の場づくりに向けて、環境学習等に携わる関係者との意見交換を行った。	環境学習等に携わる多様な主体による交流や情報共有を促し、連携や協働の契機とするため、令和4年度千葉県環境学習等に関する交流・協働の場づくり事業として「谷口たかひさ講演会」を実施し、162名が参加した。	環境学習等に携わる多様な主体による交流や情報共有を促し、連携や協働の契機とするため、令和5年度千葉県環境学習等に関する交流・協働の場づくり事業として「露木しいな講演会」を実施し、65名が参加した。	継続	環境学習等に携わる関係者との意見交換を行いながら、交流・協働イベントを実施する。
144			05環境	循環型社会推進課	再掲	エコメッセちば	持続可能な社会作りのため、環境への意識を高め、環境保全行動を促進することを目的に、環境活動見本市であるエコメッセを市民・大学・企業・行政などの協働により開催する。	出展団体数: 60団体 視聴数: 11,761 R4.1.31時点 ※新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインで開催	県下最大の環境見本市「エコメッセ2022inちば」を開催した。 会場出展: 50団体 入場者1219人 オンライン出展33団体 視聴数: 7,033 R5.1.31時点	県下最大の環境見本市「エコメッセ2023inちば」を開催した。 会場出展: 65団体 入場者2,300人 オンライン出展20団体 視聴数: 6,426 R6.1.31時点	継続	エコメッセちば2024の開催
145		(2)若者との協働の推進	05環境	循環型社会推進課		若者との協働による環境学習等推進事業	若者が気軽に環境活動へ参加するきっかけや場を提供し、本県の環境活動をリードする若手人材の育成を図るとともに、若者発信による共感・関心を広げ、県民の行動変容を促す。	環境学習等に関する今後の施策立案(若手人材の育成、若者との協働)に当たり、環境活動を実践する学生団体等との意見交換を実施した。	若者の関心を喚起し、継続的な環境活動の輪を広げるため、若者をターゲットにした環境イベント、若者の交流を目的としたワークショップ等を若者が主体となり実施した。(ピーチクリーン、竹ワークショップ、秘密基地づくり等計5回開催、延べ800名程度参加)	廃止 ※R5年度からは新たに「若者が主役の環境保全活動応援事業」を開始	廃止	—
146			05環境	自然保護課		インターンシップ実習生の受け入れ	県庁インターンシップ実習生を受け入れ、生物多様性保全に関する知識の習得や情報発信を図る。	新型コロナウイルス感染症対策により、全庁で受け入れを中止した。	計3名のインターンシップ実習生を受け入れられた。	千葉県庁キャリア実習プログラムとして3名を受け入れ	継続	千葉県庁インターンシップ実習プログラムとして3名を受け入れ

千葉県環境学習等行動計画 関連事業取組実績一覧

No	施策体系	主な取組	担当		再掲	事業名	事業概要	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
			部局	主務課 (実施機関)				事業実績	事業実績	事業実績	状況	事業予定
147		(3)事業者等との協働の推進 幅広い世代へ効果的に環境保全についての普及啓発を図るため、多くの人が参加するイベントや観光・集客施設、環境保全に取り組む先進的な事業者等と連携・協働した取組を推進します。	05環境	循環型社会推進課	再掲	3R推進事業	3Rの推進を図るため、ごみを減らすために、身の回りでできることを実践するライフスタイル「ちばエコスタイル」の普及啓発を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境月間や3R推進月間などの機会を捉え、リーフレット、ホームページ、SNS等を活用し、「ちばエコスタイル」の普及に取り組んだ。</li> <li>・県内事業者と連携し、プラスチックごみ削減キャンペーンを実施した。</li> <li>ちばレジエコサポーター数:38,231名</li> <li>ちばマイカップ・マイボトル協力店舗数:509店</li> <li>ちば食べきりエコスタイル協力店舗数:509店</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境月間や3R推進月間などの機会を捉え、リーフレット、ホームページ、SNS等を活用し、「ちばエコスタイル」の普及に取り組んだ。</li> <li>・県内事業者と連携し、プラスチックごみ削減キャンペーンを実施した。</li> <li>ちばレジエコサポーター数:39,298名</li> <li>ちばマイカップ・マイボトル協力店舗数:510店</li> <li>ちば食べきりエコスタイル協力店舗数:514店</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境月間や3R推進月間などの機会を捉え、リーフレット、ホームページ、SNS等を活用し、「ちばエコスタイル」の普及に取り組んだ。</li> <li>・県内事業者等と連携し、各種イベント等で啓発を実施した。</li> <li>・従来の登録制度(ちばマイカップ・マイボトル協力事業者、ちば食べきりエコスタイル協力事業者)を刷新し、「ちばエコスタイルパートナー登録制度」(ちばプラごみ削減パートナー、ちば食品ロス削減パートナー)を創設した(10月10日)。</li> <li>○ちばレジエコサポーター数:40,350名(10月9日時点)</li> <li>○ちばマイカップ・マイボトル協力店舗数:510店(10月9日時点)</li> <li>○ちば食べきりエコスタイル協力店舗数:545店(10月9日時点)</li> <li>→《刷新後》</li> <li>○「ちばプラごみ削減パートナー」登録事業者数:42事業者2,273店舗(3月31日時点)</li> <li>○「ちば食品ロス削減パートナー」登録事業者数:81事業者3,429店舗(3月31日時点)</li> </ul>	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境月間や3R推進月間などの機会を捉え、リーフレット、ホームページ、SNS等を活用し、「ちばエコスタイル」の普及に取り組む。</li> <li>・県内事業者等と連携し、各種イベント等で啓発を実施する。</li> <li>・「ちばエコスタイルパートナー」登録制度の周知を図る。</li> </ul>
148			05環境	循環型社会推進課	再掲	食品ロス削減対策推進事業	消費者、事業者等が食品ロス削減について理解と関心を深め、それぞれの立場から取り組むことを促進するよう、普及啓発を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーフレットやSNS等による情報発信を行った。</li> <li>・消費者・事業者・関係団体・学識経験者で構成する「千葉県食品ロス削減ネットワーク会議」を立ち上げ、各構成員における取組状況や課題等について意見交換を行った。</li> <li>・県内のコンビニエンスストア、食品スーパー等と連携し、2,040店において「てまえどり」の啓発を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーフレットやSNS等による情報発信を行った。</li> <li>・消費者・事業者・関係団体・学識経験者で構成する「千葉県食品ロス削減ネットワーク会議」の検討結果を踏まえ、千葉県の事業系食品ロスの実態把握のため、事業者アンケート調査を実施した。</li> <li>・県内のコンビニエンスストア、食品スーパー等と連携し、2,723店において「てまえどり」の啓発を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーフレットやSNS等による情報発信を行った。</li> <li>・「ちば食べきりエコスタイル協力事業者」を刷新し、中小事業者等へ取組の範囲を拡げた「ちば食品ロス削減パートナー」登録制度を創設した。</li> <li>・県内のコンビニエンスストア、食品スーパー等と連携し、2,913店において「てまえどり」の啓発を実施した。</li> </ul>	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント出展やSNS等による情報発信を行う。</li> <li>・「ちば食品ロス削減パートナー」登録制度の周知を図る。</li> <li>・「てまえどり」など、事業者と連携した啓発を行う。</li> </ul>